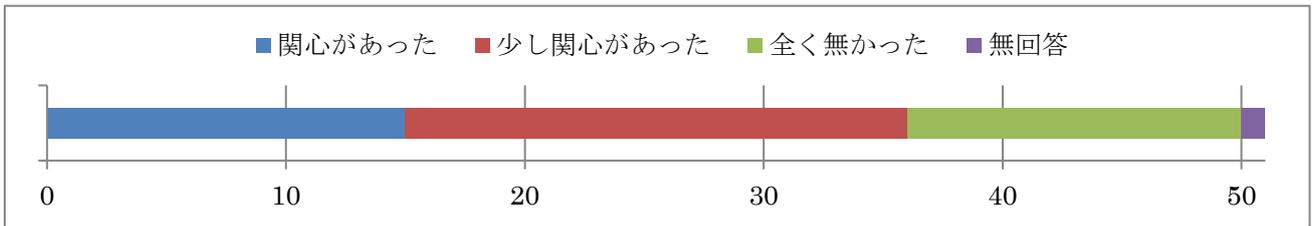


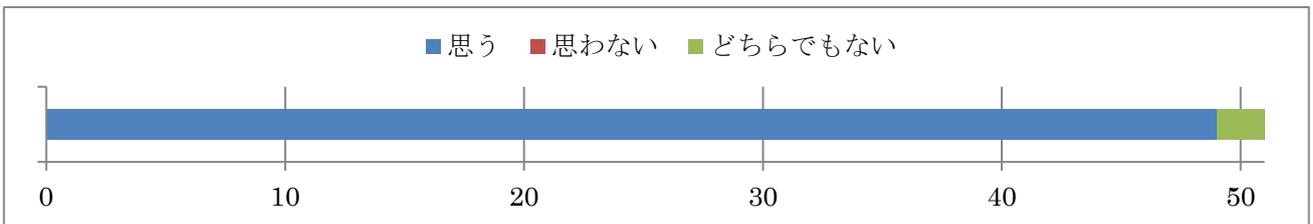
5月例会 憲法討論会～日本の未来を考えよう～ アンケート結果

※51名

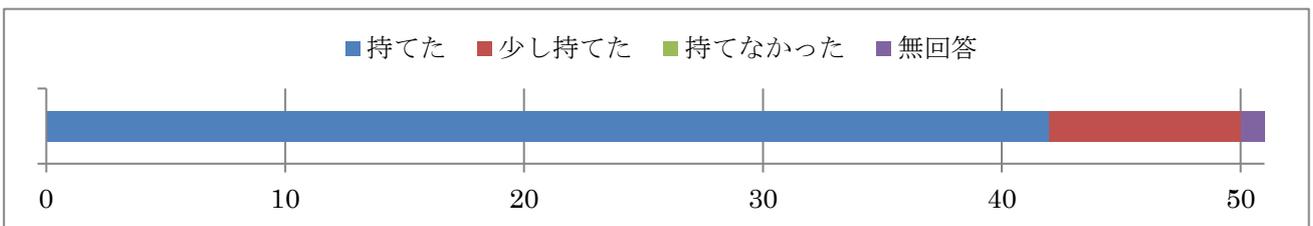
1. この事業に参加される前から憲法に関心がありましたか。



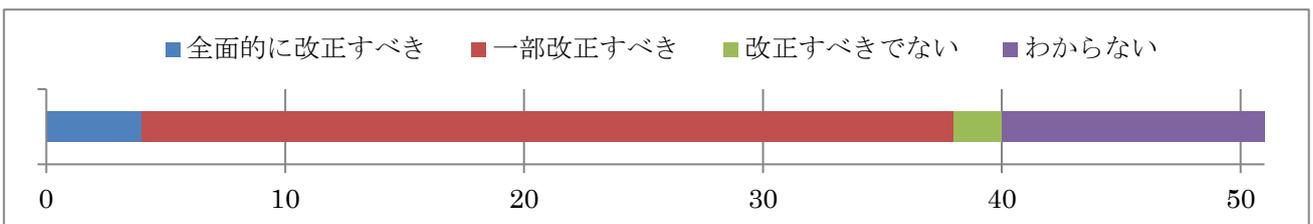
2. 日本人として、日本国憲法に関心をもつべきだと思いますか。



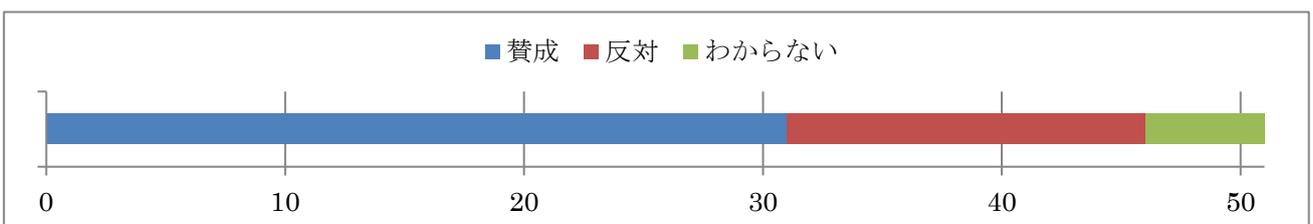
3. この事業に参加されてから憲法に関心が持てましたか。



4. 憲法改正の必要があると思いますか。



5. テーマ①「憲法9条に自衛隊の存在や役割を明記する」についてどう思いますか。



【賛成】

- ・第13条と現実との整合性並びに国民の意思として。
- ・一部見直した方がよい

- ・あやふやにしておく意味が分からない。諸外国に自衛隊の存在を示す。
- ・現在は解釈によって自衛隊の存在を合憲としている。法治国家にとって法律の意味を解釈によって判断できてしまうと法的秩序は保てない。憲法も解釈の余地を無くし、誰が見ても条文の意味を理解できるようにすべき。
- ・自衛隊の役割や存在を明記しないと、戦争が起きた時や、日本が攻め込まれた時の対応が明確でないから。
- ・存在や役割が明記されていない実力組織がある事は問題。
- ・今の自衛隊の状況と憲法が一致しないから。
- ・明記していない方が不自然。
- ・実在しているし、明記する必要性はあると思う。
- ・そもそも、自衛隊が「国防軍」と明記すべき。明らかに「自衛をするための戦力」であり、その事を明確にする必要がある。災害における立ち位置も議論して良いが、まずは軍である事を認めるべき。
- ・活動範囲を明記すべき。
- ・明確に定めて活動範囲を決めておくべき。
- ・海外から軍隊として見られているのであれば、自衛隊の役割を明記し明確に軍隊では無いと主張すべき。
- ・国家論として無理がある。
- ・しっかりと明記しその事実を近隣諸国にも伝えることで、戦争の抑止力につなげるため。
- ・日本は自国を守る体制をとる準備をすべきで、それが戦争につながる事にはならない。日本は自主自立する時にきていると思う。
- ・出来る事と出来ないことをしっかりと書いておく必要がある。憲法で縛るほうが良い。
- ・前文と合わせて自衛隊のあり方を明確に示すことで安保理念を今一度構築し、安全保障体制の一層の整備をすると共に、国際社会の役割を果たすため。
- ・普通に読んでわからなければ意味が無い。しかし軍法もなくポジティブリストのままでは何の意味も無い。
- ・自衛隊はまぎれもない戦力であり、戦力保持を明確にする事が戦争の抑止力になる。

【反対】

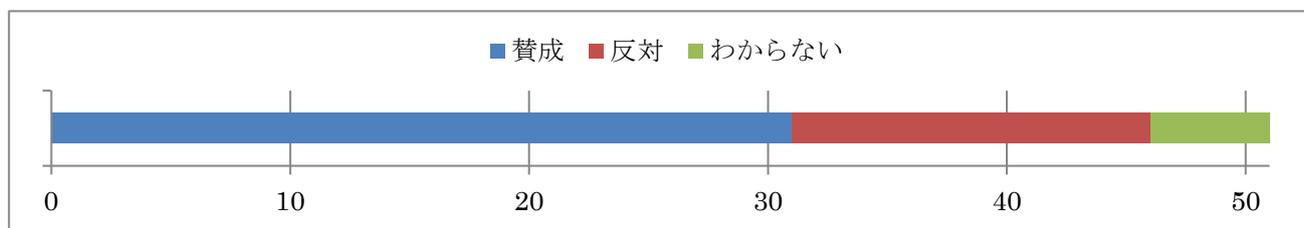
- ・まず何を明記するのか。9条自体が不要と考える。
- ・グレーゾーンは無い。集団的自衛権への足がかりとなり戦争に巻き込まれる。
- ・徴兵制につながる。
- ・集団的自衛権により戦争に進んでしまうことが心配。
- ・現状より武装化が進む恐れがある。
- ・近隣諸国を刺激し戦争に近づく。
- ・曖昧である事が良い時もある。
- ・硬性憲法たる現行下で定義付けをする事は、未来に憂いを残す可能性がある。

- ・自衛隊が戦力であるとの意見が多い中、どのように明記するのか。自衛力を減少させた上で明記すれば自国を守れない。
- ・グレーな部分は置いておくべきで、明記して確定してしまえば動きにくくなると思う。
- ・戦争に進む可能性はなくすべき。
- ・国際紛争に巻き込まれる可能性が高くなる。

【わからない】

- ・自衛隊＝軍事力武力として明記は反対。自衛の為の組織として役割をはっきり明記する点では賛成。
- ・賛否両論ありすぎる事がわかった。
- ・国民や外国との対話がもっと必要。その上で判断していく必要がある。

6. テーマ②「大規模災害に対応するため緊急事態条項を創設し権力を集中すべきである」について、憲法に加える必要があると思いますか。



【賛成】

- ・大規模災害に関しては集中すべき
- ・想定外の事態が起こった時の為に創設すべき。法律でまかなえるなら過去2回の震災で速やかな対応が出来ていたはず。
- ・事前に制限する権利を明記する場合に限り賛成。
- ・緊急事態感が増す。
- ・危機感理論として権力集中は絶対に必要。
- ・これから必ず大規模災害に対して、急を要する対応が必要になると思うため。
- ・有事に関して、災害と戦争を分けて考えるべき。
- ・想定外の事態など法律で定められない又は定めるべき範囲がある場合において定めるべき。
- ・政府の暴走を防ぐために、条件付きで各論として意思表示の必要がある。
- ・条件付きであれば良い。
- ・対応を円滑にする為には必要。
- ・戦争と災害、それぞれの条項にする必要がある。
- ・権力を集中させて、それが戦争に結びつくとは思わない。
- ・緊急なときこそ、冷静な判断ができるトップが必要。
- ・誰にも想定できない事態は起こりうるため。
- ・戦争や有事を除く加憲には賛成。
- ・制限付きで必要になる場合がある。但し書きは良い案だと思う。

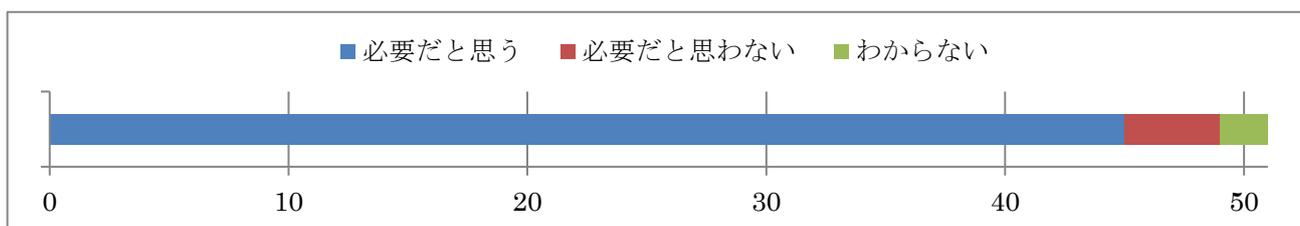
【反対】

- ・ 憲法は国家を統制し国家権力の濫用を抑止するものであるもので、一つの条文で他の全ての規定が制限されるのは国家権力の濫用を招くことになり問題である。
- ・ 権力を集中させた場合に、一人の人間や一つの組織が正しい判断が出来ると思われないから。
- ・ 憲法を停止する必要はなく、法律で対応すれば良い。
- ・ その都度対応すべき。
- ・ 災害時のみであれば理解できるが、政府にとって都合の良い憲法改正になる可能性がある。
- ・ もっと理解を深める必要がある。
- ・ 内閣が優秀であり正義であるという前提があれば別であるが、国民も選挙で間違えることがある。民主党政権時代の内閣には任せられない。
- ・ 戦争と災害を同じ視点で考えては危険。
- ・ 戦争や紛争を起こす可能性がある。
- ・ 権力集中は百害である。

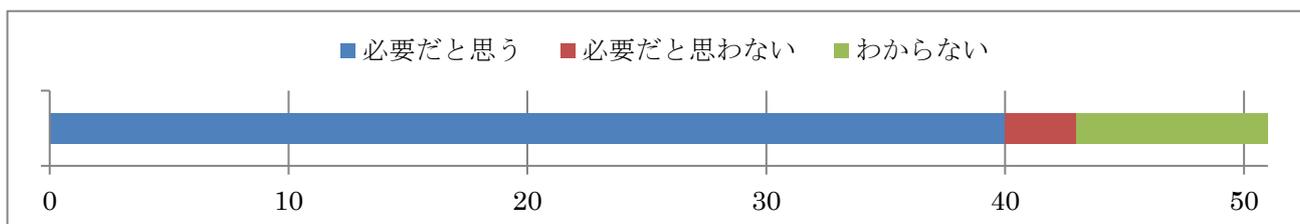
【わからない】

- ・ 迅速な対応は必要だが、憲法に記す必要性までは理解できない。
- ・ 憲法に記載すべきか判断しにくい。
- ・ 災害に限らずもっと勉強してみたい。
- ・ どちらの意見も聞き、一筋縄ではいけない。定義付けが急務と感じる。
- ・ メリットとデメリットについて考えがまとまらない。

7. 家族や友人、地域の人たちと憲法改正について話し合うことは必要だと思いますか。



8. 青年会議所で憲法事業を開催することは必要だと思いますか。



9. 今後、日本青年会議所が主催する憲法事業に参加しようと思いますか。

